

第97期 報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで



トップインタビュー

「コンプライアンス」と「安定収益の確保」を
ミッションに、卸としての価値創造へ挑戦します。

伊藤忠食品株式会社

証券コード: 2692

「コンプライアンス」と「安定収益の確保」を ミッションに、卸としての価値創造へ挑戦します。



株主の皆様におかれましては、日頃より当社事業への厚いご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

平成27年3月期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)の事業概況をご報告し、今後の見通しについてご説明させていただきます。

平成27年6月

代表取締役 社長執行役員

星 秀一

企業理念

常に時代の変化と要請を先取りし、
健康で豊かな食生活創りを通じて
消費者と社会に貢献します

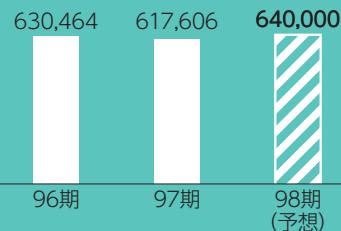
経営ビジョン

卸機能日本一のグッドカンパニーになる

連結決算ハイライト (単位:百万円)

売上高

617,606百万円
(前期比2.0%減)



Q 当期(平成27年3月期)の取り組みと経営成績についてお聞かせください。

当期における国内経済は、政府による経済政策や日本銀行による金融政策の成果などもあり、企業収益の改善、賃金のベースアップ、雇用環境の改善などが見られ、景気は緩やかに回復いたしました。一方で、円安によるエネルギーコストや原材料価格の上昇、新興国経済の成長率鈍化による海外景気の下振れリスクが懸念されるなど、依然として不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは「コンプライアンス」と「安定収益の確保」を当期ミッションに掲げ、厳しい環境下でも安定収益が確保できる経営基盤の構築を進めてまいりました。当期の売上高は前期比2.0%(128億57百万円)減少の6,176億6百万円となりました。主な要因は、消費税の影響として、前期3月末の駆け込み需要の反動による当期4月の売上減と、当期3月と前期3月の差による減少が約

86億円。また、夏場の天候不順による飲料・ビールの販売減等による減少が約42億円でした。利益面は配送コスト上昇等により、センター収支は悪化しましたが、価値ある商品の調達・提案、採算管理の強化、事業の見直し、業務改革による合理化・効率化等の取り組みを進めた結果、営業利益は前期比11.1%(3億66百万円)増加の36億70百万円、経常利益は前期比6.7%(2億81百万円)増加の45億8百万円となりました。当期純利益は、固定資産売却益の減少などにより前期比20.7%(6億75百万円)減少の25億81百万円となりました。

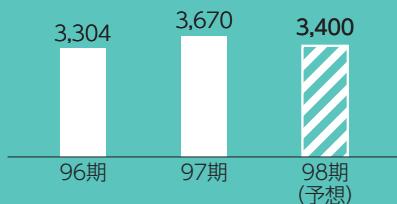
Q 次期(平成28年3月期)のミッションと具体的な施策、業績見込みをお聞かせください。

次期のミッションは、引き続き「コンプライアンス」と「安定収益の確保」としました。全社重点施策として従来通りの在り方を見直すことによる「売総経費率の改善」と、付加価値に力

詳細はP7-8をご覧ください。▶▶▶

営業利益

3,670百万円
(前期比11.1%増)



経常利益

4,508百万円
(前期比6.7%増)



当期純利益

2,581百万円
(前期比20.7%減)





点をおいた「商品」「機能」の提供による卸としての「価値の創造」を行っていきます。その実行のため、営業部門で6点、管理部門で6点の重点課題を中心に取り組んでまいります。

商品調達機能の強化としては、日本各地の安全・安心で美味しい地域産品を自治体・支援機関・銀行等と連携して発掘し、全国への販路創出に取り組む「地域産品プロジェクト」や、有名・人気ブランドと商品開発を行う「ブランド事業」に取り組んでおります。また、健康食品・非食品の商品開発力、無店舗販売ルートの強みを持つ「株式会社アイケイ」との業務提携・株式取得と、電通子会社で広告主のキャンペーン景品を開発・提供する事業を展開する「株式会社UpTable」の49%株式取得を実施しました。当社・両社の

強みを掛け合わせて販路開拓を進め、さらなる売上・利益の拡大を目指してまいります。

ギフトNo.1卸をビジョンに掲げる、ギフト事業は、「商品企画」「物流」「システム」のギフト機能強化に取り組んでおります。M&A、提携等によるフルカテゴリー調達への取り組みにより、今まで手掛けてこなかった新たなギフト販路の獲得を目指しております。ギフトカード事業もギフト利用の需要創出に向けて、カードの認知を高めるための取り組みとして、クレジット会社等の「ポイント交換プログラム」や、「福利厚生」「セールスプロモーション」等への提案を強化してまいります。

物流については、物流費の削減とエリア内での更なる売上の拡大を目指して、愛知県の春日井センターと東名センターを集約した、統合センターを新設いたします。その他、取引先から受託している物流センターに関しても、物流最適化に対する提案を進めており、合計60億円の物流投資を計画しています。

これらを着実に推進することによって、次期(平成28年3月期)の連結業績は、

■ 98期連結業績予想

売上高	6,400億円
営業利益	34億円
経常利益	43億円
当期純利益	28億円

を見込んでおります。

■ 98期ミッション・重点施策

98期ミッション 「コンプライアンス」と「安定収益の確保」

営業部門

- 1 価値ある商品の発掘・調達・提案力強化
- 2 優良顧客との取引深耕と新たな得意先との取引拡大
- 3 不採算取引の改善
- 4 ギフトNO.1に向けた機能構築
- 5 商品開発事業・EC事業の拡大
- 6 物流機能の更なる強化

● 全社重点施策 ●

「売総経費率の改善」
と
「価値の創造」

管理部門

- 1 人材育成策・研修制度の確立
- 2 ガバナンスの充実とコンプライアンス・食品安全管理機能の強化・徹底
- 3 債権債務管理機能の強化
- 4 与信管理・法務機能等の取引管理機能の高度化・リスクマネジメントの推進
- 5 BPR・IT化による業務最適化
- 6 ワーク・ライフ・バランスの整備

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

当社グループは、株主の皆様への利益還元を最重要政策と認識しており、期間収益の増減に大きく左右されず、継続的に安定配当を行うことを基本方針としております。したがって、当期末の配当金につきましては、予定通り1株当たり34円、年間配当金は中間期配当の1株当たり34円と合わせ、前期と同額の1株当たり68円とさせていただきます。なお、次期の年間配当金につきましては、増収増益を計画しておりますので、1株当たり70円への増配を予定してお

ります。

当社が主に取り扱う、酒類、加工食品は、消費者が価格に敏感で厳しい環境が続いております。さらに、原材料高騰による商品価格の値上げ、人手不足による人件費・物流費のコストアップ等、生配販共通の課題が増えています。変化の激しいときこそ、選ばれる卸となるために、卸機能日本一のグッドカンパニーに向けた価値の創造に挑戦してまいります。

株主の皆様におかれまして、これからも末永くご支援を賜りますようお願い申し上げます。

健康で豊かな食生活を社会に広げる

次代の「食」を担う商業高校生の教育を支援

伊藤忠食品によるCSR(企業の社会的責任)の基本方針は、企業理念に掲げる「健康で豊かな食生活創り」です。

ここでは、その一環として近年取り組みを強化している「商業高校への教育支援」をクローズアップします。



今年も高校生が食品の開発商品を競う

「商業高校フードグランプリ」を開催

当社が2013年から主催し、今年で3回目となる「商業高校フードグランプリ」は、全国の商業高校生が地域の特産品を活かして、メーカーと共同開発した食品の商品を競うコンテストです。また、商品の応募を通じて、継続的に流通・販売可能な商品の条件や課題を学んでもらうと同時に、地域食文化の活性化に寄与することを狙いとしています。

2014年の開催では、全国から48校79品の応募があり、本選に出場する10校10品を決定しました。今年は、7月29日・30日に決勝が行われ、予選を勝ち抜いた全国の商業高校生が大阪に集結します。



「商業高校フードグランプリ」出場商品が株主優待品に採用!

当社は、毎年3月31日現在の株主名簿に記載・記録された単元株式数(100株)以上保有の株主様1名につき1口、カタログの中から好きな商品を選んでいただける株主優待を実施しています。今回、セレクトギフト商品に「商業高校フードグランプリ」に出場した開発商品を採用しました。ぜひご賞味ください。

3月末 株主優待の権利が確定

6月下旬 優待カタログとハガキをご郵送

9月末 優待商品のお申し込み期限



商品のお届け

佐賀県立唐津商業高等学校

「松ゆるる 美味eat」(塩麹ドレッシング) 5本セット

2014年のフードグランプリで審査員特別賞を受賞した佐賀県立唐津商業高等学校による逸品。塩麹と佐賀県産の玉ねぎを使用し、魚由来のぷるるんコラーゲンを配合したドレッシングです。サラダはもちろん、焼き肉やハンバーグ、パスタなど、いろいろな料理にかけて・つけて・焼いて・あえて、味の豊かさを倍加します。



流通の現場から伝える「生きた講義」

商業高校の课外授業をサポート

プロのバイヤーが参加する展示会で、商業高校生に開発商品をプロモーションする機会を提供したり、流通・マーケティング関連の講義を実施するなど、当社はさまざまな形で教育支援を行っています。

最近はこの取り組みが認知され、学校や教育機関からの講義依頼が増えてきました。講義では当社社員が講師を務め、卸売業の役割や流通に関する知識を深めてもらっています。

講義内容例

- 卸売業の役割
- 会社の仕組み
- 会社で働くこと



岡山県立岡山東商業高等学校

「ももたろうとまと ぼんず・ソースセット」

岡山県立岡山東商業高等学校は、2013年に大賞を受賞したトマト羊羹「とまかん」に続き、2014年はとまとをたっぷり使用したポン酢「ももたろうとまとぼんず」を出品。新商品の「岡山県産桃太郎トマトとんかつソース」をセットにした商品を優待ギフトに加えました。岡山県産の桃太郎とまとを贅沢に使用した商品はどんな料理にもぴったりです。



商業高等学校指導者研修会に協力

生徒・教員向け物流センター見学

商業高校生の見学受け入れだけでなく、教員の方の見学にも対応しています。これまでにも、「全国商業高等学校指導者研修会」に協力し、全国各地から参加された高校教員約50名を対象に、物流センターにおける卸売業の役割について説明、センター内を見学していただきました。

先生方は、物流センターの仕組みやオペレーションに興味深く見学され、大変有意義な機会として感謝の言葉をいただきました。



連結決算の概要

■ 連結損益計算書の概要 (単位:百万円)

売上高

617,606 百万円
(前期比2.0%減)

昨年4月の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動や夏場の天候不順等により前期比128億57百万円の減収となりました。

営業利益

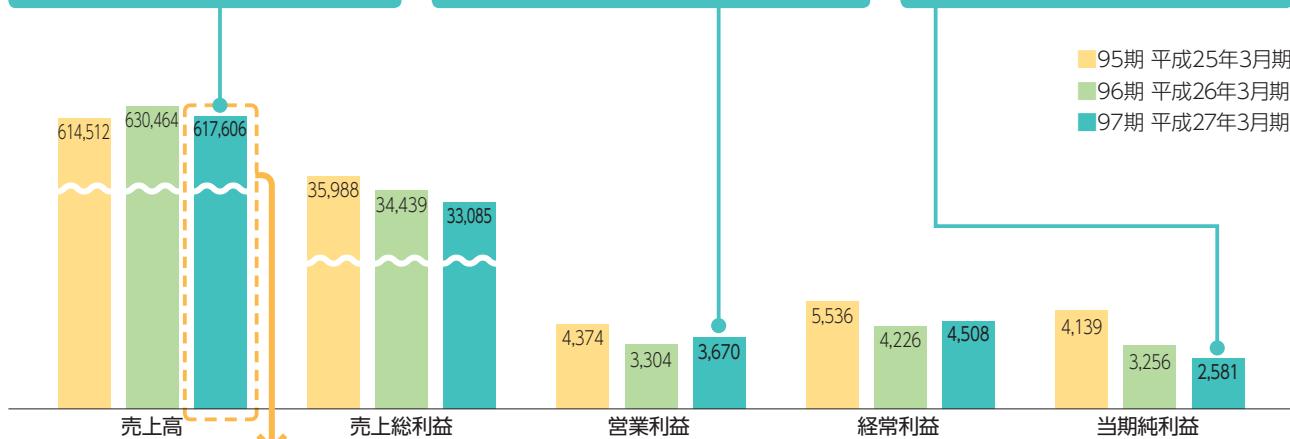
3,670 百万円
(前期比11.1%増)

売上高は減少したものの、ローコストオペレーションの推進による経費圧縮などにより、前期比3億66百万円の増益となりました。

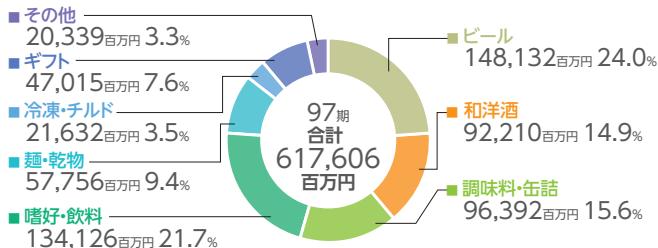
当期純利益

2,581 百万円
(前期比20.7%減)

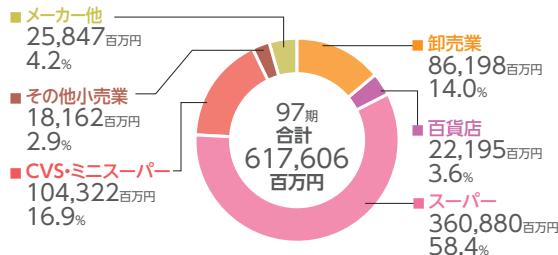
経常利益が増加したものの、センター再編による特別損益の計上、固定資産売却益の減少などにより6億75百万円の減益となりました。



商品分類別売上高構成比

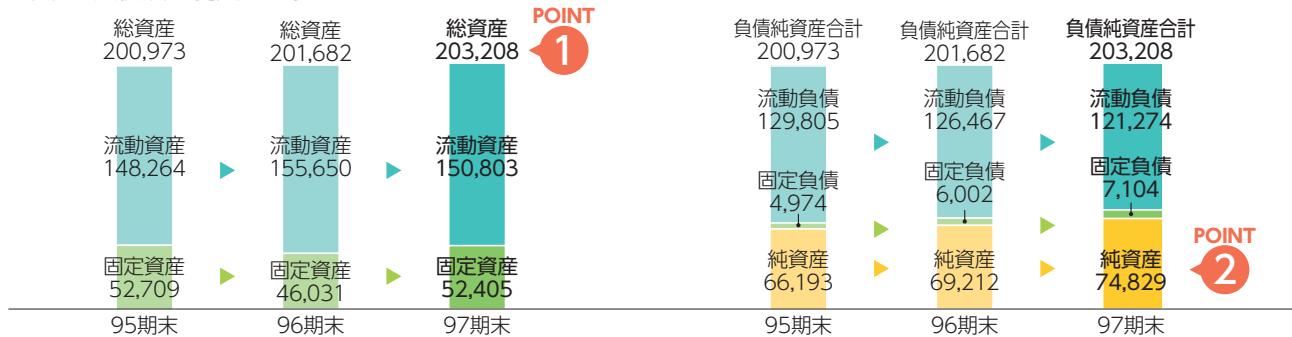


業態別売上高構成比

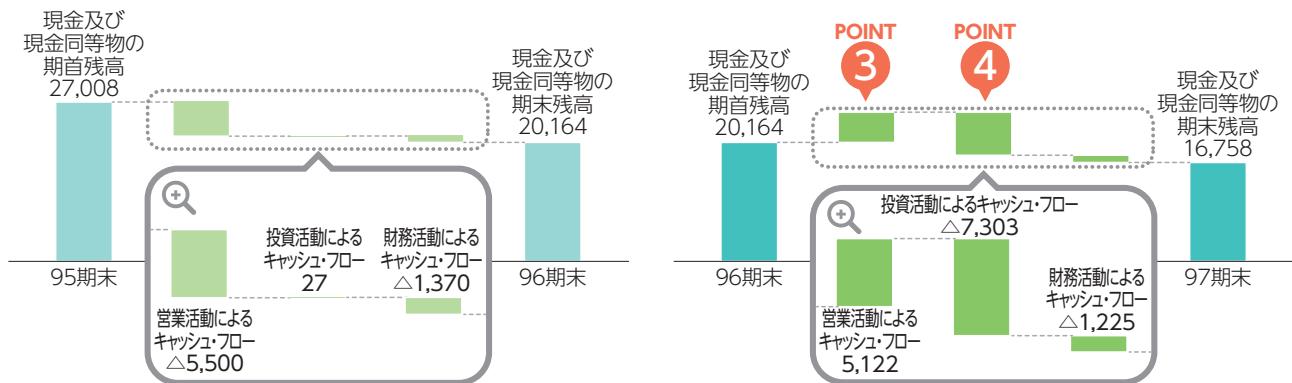


(注)「ビール」には、発泡酒、ビール風アルコール飲料(第3のビール)の売上高を含んでおります。

■ 資産、負債及び純資産の状況 (単位: 百万円)



■ 連結キャッシュ・フローの状況 (単位: 百万円)



POINT 1 資産は2,032億8百万円となり、前期末と比べ15億26百万円の増加となりました。これは、前期末が消費税の影響により昨年3月の取引高が増加したことから当期の債権は減少しているものの、株価回復により投資有価証券が増加したことによるものであります。

POINT 2 純資産は748億29百万円となり、前期末と比べ56億17百万円の増加となりました。この主な要因は利益剰余金の増加と、株価回復によりその他有価証券評価差額金が増加したことなどによるものであります。

POINT 3 営業活動の結果増加した資金は51億22百万円(前期より106億23百万円収入増加)となりました。主な要因は税金等調整前当期純利益40億41百万円、たな卸資産ならびに未収入金の減少額31億10百万円等であります。

POINT 4 投資活動の結果使用した資金は73億3百万円(前期より73億30百万円支出増加)となりました。主な要因は関係会社への資金の預け入れ60億円等によるものであります。

商号 伊藤忠食品株式会社
創業年月日 明治19年2月11日(1886年2月11日)
設立年月日 大正7年11月29日(1918年11月29日)
資本金 4,923,464,500円
従業員数 連結1,023名 個別731名
事業内容 酒類・食品の卸売およびそれに伴う商品の保管、運送ならびに各種商品の情報提供、商品流通に関するマーチャンダイジング等を主とした事業活動を展開。
本店所在地 大阪市中央区城見2-2-22
大阪本社
 〒540-8522 大阪市中央区城見2-2-22
 電話(06)6947-9811
東京本社
 〒107-8450 東京都港区元赤坂1-2-7
 電話(03)5411-8511

役員 (平成27年6月17日現在)
 代表取締役・社長執行役員 星 秀一 常務執行役員 青山 裕一
 取締役・専務執行役員 松本 耕一 常務執行役員 久野 耕佐
 取締役・専務執行役員 阿部 淳一 執行役員 酒井 健雄
 取締役・専務執行役員 大釜 賢一 執行役員 鈴木 昌
 取締役・常務執行役員 三浦 浩一 執行役員 松本 正幹
 取締役(非常勤) 川村 博 執行役員 河原 光男
 取締役(非常勤) 高垣 晴雄 執行役員 讃岐 博行
 常勤監査役 姫野 彰 執行役員 魚住 直之
 監査役(非常勤) 増岡 研介
 監査役(非常勤) 桜木 正人
 監査役(非常勤) 川村 篤生

子会社・関連会社 ■連結子会社 ■非連結子会社 ■関連会社

卸売業／■(株)中部メイカン ■(株)スハラ食品
 小売業／■(株)宝来商店

物流管理・運送業／■新日本流通サービス(株)
 サービス業／■ISC ビジネスサポート(株) ■(株)アイ・エム・シー
 食品マーケティング業／■(株)UpTable

株主メモ

STOCKHOLDER MEMO

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 3月31日
 期末配当金 3月31日
 中間配当金 9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

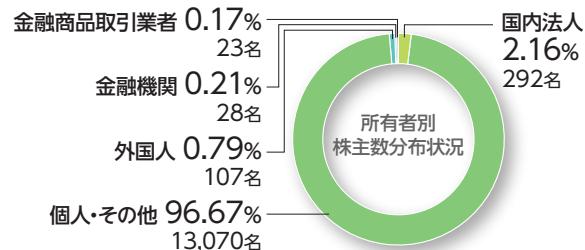
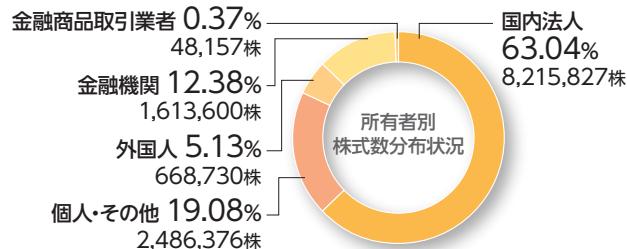
**特別口座の
口座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店でっております。

公告方法 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
 * 公告掲載の当社ホームページアドレス
<http://www.itochu-shokuhin.com/>

単元株式数 100株
証券コード 2692

発行可能株式総数 40,000,000株
 発行済株式の総数 13,032,690株
 株主数 13,520名



大株主

株主名	所有株式数(株)	所有株式数比率(%)
伊藤忠商事(株)	6,220,316	50.79
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (三井住友信託銀行再信託分・アサヒビール(株)退職給付信託口)	815,000	6.25
味の素(株)	339,129	2.60
松下 善四郎	302,000	2.31
アサヒビール(株)	296,500	2.27
みずほ信託銀行(株)退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)	249,300	1.91
伊藤忠食品 従業員持株会	162,400	1.24
はごろもフーズ株式会社	87,100	0.66
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	82,400	0.63
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	81,600	0.62

(注) 1 上記のほか、自己株式が194,889株あります。

- 2 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(三井住友信託銀行再信託分・アサヒビール(株)退職給付信託口)の所有株式は、アサヒビール(株)が所有していた当社株式を三井住友信託銀行(株)に信託したものが、日本トラスティ・サービス信託銀行(株)に再信託されたもので、議決権はアサヒビール(株)に留保されております。
- 3 みずほ信託銀行(株)退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)の所有株式は、(株)みずほ銀行が所有していた当社株式をみずほ信託銀行(株)に信託したものが、資産管理サービス信託銀行(株)に再信託されたもので、議決権は(株)みずほ銀行に留保されております。

ご案内

INFORMATION

住所変更、 単元未満株式の 買取等のお申出先

証券会社に口座のある株主様 ▶ 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

証券会社に口座がないため
特別口座を開設されました株主様 ▶ 特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金のお支払い」 について

配当金領収証にてお受取りの
株主様 ▶ 「支払通知書」に替えて「配当金計算書」を同封いたしております。

口座振込を指定されている株主様 ▶ 配当金支払いの際送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。

「配当金計算書」について

※ 確定申告をなされる株主様は大切に保管してください。

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。

未払配当金の支払いのお申出先

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

料理王国
CUISINE KINGDOM

おれ米八

食卓を飾る名店の味

私たちは時代の変化とお客様のニーズを先取りし、
安全・安心で信頼できる商品をお届けいたします。

五島軒

広東名菜
赤坂璃宮

Ristorante Al Porto
イタリア料理 アルポルト

ISC 伊藤忠食品株式会社

- 大阪本社 〒540-8522 大阪市中央区城見2-2-22 電話 (06)6947-9811
- 東京本社 〒107-8450 東京都港区元赤坂1-2-7 電話 (03)5411-8511
- インターネットホームページURL <http://www.itochu-shokuhin.com/>



本報告書は、環境保全のため、FSC®認証紙を使用して
植物油インクで印刷しています。